

JIMIN Nagano

2024
Autumn

令和6年度9月補正予算

一般会計 111億2011万円を可決

県では、能登半島地震で顕在化した課題を教訓に、本県の地震対策を総点検し、充実・強化を図るための「長野県地震防災対策強化アクションプラン」に取り組みとともに、大雨災害等からの復旧、防災・減災対策や頻発するツキノワグマの出没への対策強化、教育環境の整備などに必要な補正予算案111億2011万円を提案し全会一致で可決しました。

また、自民党県議団からは11名の議員が一般質問に立ち、人口減少、医療福祉、観光振興税（仮称）、教育問題など、県政課題について知事等と活発な議論を展開しました。



主要事業の例

県民生活の安全・安心の確保
109億4489万3千円

◆地震防災対策強化アクションプランの推進

- 災害時の孤立発生時に情報通信手段を確保するため、人工衛星を利用した通信機器を整備
- 既存住宅の耐震改修補助等に係る予算を増額するとともに、耐震化の進んでいない地域や歴史的まちなみを有する地域の耐震化促進に向け、助言や課題の把握

◆大雨災害等への応急復旧対応（県単独公共事業）

- 被災した道路、河川、砂防施設、荒廃森林、農業用施設等や、アクションプランも踏まえ、特に保全が必要な迂回路のない道路などについて、迅速な応急対策・復旧工事等を実施
- 安全・安心な県土づくりの推進（補助公共事業等）

- 頻発・激甚化する災害に備え、緊急輸送道路や砂防施設等の防災・減災対策を推進
- 流域治水の取組を推進するため、県有施設に雨水貯留タンクを前倒して設置

◆道路リフレッシュプランの推進（県単独公共事業）

- 損傷が進んでいる道路インフラを集中的に修繕するための予算を増額
- クマ対策の推進

教育環境の整備
1億226万3千円

- ツキノワグマによる人身被害を回避するため、出没防止対策や出没時の体制構築支援を強化
- 児童生徒の増加や老朽化に対応するため、松本・若槻養護学校の校舍改築のための工事等に着手

自民党県議団の発議により 可決した国への意見書

- 私学助成の一層の拡充を求める意見書
- 公職選挙法の改正による選挙運動用ポスターの適正化を求める意見書
- 地域における路線バスの維持に向けた支援の強化を求める意見書
- 郵政改革関連法案の速やかな成立を求める意見書
- 食料の安定供給に向けた取組の充実を求める意見書
- 医療及び介護従事者の新型コロナウイルス感染症対策への支援を求める意見書

◆各種団体との県政等懇談会

自民党県議団では自民党長野県支部連合会と合同で、9月11日～13日の3日間、各種産業職域29団体と懇談会を開催しました。医療・福祉・商工・運輸等様々な分野の皆様から来年度の国・県の予算や施策に対する要望をお聴きし意見交換を行いました。ご要望いただいた事項は、県議団として国や県に強く要望するとともに、県議会での議論に活かしてまいります。



◆旅館ホテル組合会との懇談会

長野県観光の根幹を支える旅館ホテル組合と宿泊業における課題や県が進める観光振興税（仮称）等について意見交換を行いました。

宿泊施設における人手不足や設備投資に対する支援、観光客の円滑な移動のための二次交通の充実、観光振興税（仮称）の導入に際しては観光事業者の意見を十分に反映してほしいことなど切実な実情をお聴きしました。



◆議員の生成AIの活用勉強会

政調会では早稲田大学マニユフェスト研究所招聘研究員で日本大学法学部の林紀行教授、同研究員でNTTアドバンステクノロジ㈱の西川裕也担当課長を講師に、議会におけるChatGPTの活用について勉強会を開催し、県議団議員、市町村議会議員等約50名が参加しました。質問力・議会力・政策立案機能の向上などに活用が期待されています。



◆政調会視察

政調会では、8月8日～9日、千曲市・坂城町・青木村において、県が行う道路改築・街路・堤防補強などの事業の進捗状況のほか、ワイン用ぶどうの生産から醸造、レストランの経営を行う坂城葡萄酒醸造㈱様、建設機械のグローバルな展開を図る㈱竹内製作所様の地域の活性化につながる特色ある事業活動を視察させていただきました。



意見書の詳細は
こちらから
ご覧になれます